

★い草のみこしに歓声

第27回せんちょうい草の里まつり



▲名物『い草みこし』

10月19日、千丁町のいぐさの里公園で「い草の里まつり」が開催され、家族連れなど約9,000人の来場者で賑わいました。会場では、物産展やものまねショー、野点、畳投げ大会などが行われ、子どもみこしや名物の「い草みこし」が、担ぎ手のかけ声とともに登場すると、会場から大きな声援が送られていました。

Town Topics

～まちのわだい～



▲畳投げ大会

★大きな「輪」につながったふたみ収穫祭

風土 (FOOD) フェスタ



▲玄関を舞台にして、さまざまな演舞が披露される

二見公民館の落成20周年を記念し、10月26日、ふたみ収穫祭「風土フェスタ」が行われました。この催しは、二見の風土で育った農林水産物を生かし、「自分たちが主役の自分たちでつくる街づくり」に向けての第一歩。テーマ「食」のなかでも、ふたみ梨カレーは、ジャガイモの形をした梨が「シャキッと、ジューシー」で、ピリッとするカレーにマッチしていました。

二見小学校3年生の田中愛奈海(まなみ)ちゃんは「おいしい食べ物がたくさんあって、うれしい。抽選会が一番の楽しみです」と口いっぱいおぼりながら話してくれました。

また、元H₂Oの中沢堅司さんのライブも開かれ、大ヒット曲「思い出がいっぱい」をみんなで「元気いっぱい」合唱し、誰もが口々に「来年はこれ以上に頑張ろう」と言っておられたのが印象的でした。



▲ふたみ梨カレー

★今年も立派なしょうがお目見え

第34回東陽しょうが祭



▲しょうがの品評会表彰



▲農協成年部しょうがみこし

10月26日、種山小学校で、第34回東陽しょうが祭が開催されました。

祭は石匠太鼓で幕をあげ、しょうがの品評会では、今年も前田新一さん(川俣)

が金賞、山口勝則さん(川俣)が重さ16.8Kgもあるしょうがで重量賞など、丹精込めて作られたしょうがが数多く陳列されていました。

会場では、地元園児による子どもみこしや農協成年部しょうがみこしが祭を盛り上げ、地元特産品コーナーも大盛況。また、炎神戦隊ゴーオンジャーショーや錦野旦(にしきのあきら)歌謡ショーなど楽しいイベント盛りだくさんの一日でした。

★ 第21回2008みなと
八代フェスティバル



▲多用途支援艦「あまくさ」の前で披露される秀岳館高校の雅太鼓

11月2日、八代港外港地区でみなと八代フェスティバルが行われました。

会場では、元世界ジュニアチャンピオンで大津町出身の大村詠一氏によるエアロビックのデモンストレーションやスケッチ大会、アユのつかみ取りなど、様々なイベントが開催されました。また、海上自衛隊の多用途支援艦「あまくさ」の艦内見学やミサイル艦「おおたか」、「しらたか」などの艦内見学も行われ、大勢の見物客で賑わいました。

★ 第22回
坂本ふるさとまつり



▲松健サンバの踊りのように、簡単にはいかない米俵担ぎ

11月9日、坂本町のグリーンパークさかもとで坂本ふるさとまつりが行われ、特産品の販売や、米俵担ぎ大会、慶徳二郎&江津湖きよし爆笑トーク、神野美伽歌謡ショーなどで大賑わいでした。

今回の目玉は、坂本の食材13種類をふんだんに使った「ちゃんこ鍋」で500食が無料で振る舞われ、アツという間に無くなり大好評でした。また、町内各地域の振興会から「ぼた餅」が並ぶと、開店と同時に完売するほどの人気でした。

★ 「公園に役立てて！」と寄附
寄附者に感謝状を贈呈



▲右から：江藤 恵治（しげはる）さんと坂田市長

10月15日、鏡町の江藤恵治さんから、今年7月にオープンした鏡ヶ池公園の施設に役立ててと、現金100万円の寄附があり、坂田市長から感謝状が手渡されました。

江藤さんは、「高齢者は友達と歩き、子どもたちに話しかける。何でもない事かもしれないが大切なことです。」と、自然にコミュニケーションの場となる公園への思いを話され、坂田市長が「有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

★ 干拓魂とともに
郡築小学校創立100周年記念式典



▲記念碑の除幕式

郡築小学校が創立100周年を迎え11月2日、記念式典が行われました。

郡築小学校は、明治40年に私立尋常小学校として創立され、明治43年に現在の地に移設されました。

100周年を記念し、これまでにタイムカプセル開封、柔道大会など様々な記念事業を開催。この日は記念碑除幕式、記念式典、記念講演などが行われ、多くの地域住民がこの100周年を祝いました。

★園芸福祉で
人と人とのつながりをつくる
八代農業高等学校・生物活用研究班



▲坂田市長に受賞報告をする生徒たち

10月31日、「第59回日本学校農業クラブ全国大会」文化・生活部門で最優秀賞を受賞した八代農業高等学校の生徒さんが市役所を表敬訪問しました。

この大会は、農業を学ぶ全国の高校生9万4,000人を対象に開催されるもので県内からは12校が参加。八代農業高校は、「植物を育てることで、みんなで幸せになろう」と、園芸とおとした人と人とのつながりをつくる「園芸福祉」という新しい試みにより受賞しました。

★念願の金賞受賞！
アビリンピック金賞受賞を報告



▲金賞のメダルとともに西村さん（左）と坂田市長

10月24日から26日にかけて千葉市の幕張メッセで開催された「第30回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」のワード・プロセッサ部門で金賞を獲得した市健康増進課職員の西村祐紀（にしむらゆうき）さんが28日、市長に金賞受賞の報告を行いました。

西村さんは、17歳の時から同大会を目指し、3度目の出場で念願の金賞を受賞。西村さんは、「両親が喜んでくれたのが一番嬉しい。次は国際大会を目指したい」と抱負を語りました。

★亀蛇の壁画が登場

八代ショッピングセンター東側壁画除幕式



▲作品とともに笑顔の麦田君

11月10日、本町3丁目の八代ショッピングセンター東側壁面角に妙見祭のシンボル「亀蛇」の壁画が登場し、関係者ら約50人が参加して除幕式が行われました。

この作品を描いたのは、八代小学校6年の麦田悠喜（ゆうき）君。市や商工会議所などが募集したアートコンテストで、色使いや動きが評価され、優秀賞を獲得したもので、麦田君は「とても嬉しい」と笑顔で語ってくれました。

★今年のイモは大きいで～す!!

イモ掘り体験イベント



11月12日、八代市の建材メーカーYKK AP九州事業所社員寮の敷地内にある畑で市内11園の保育園児約200人が、イモ掘り体験をしました。

今年は前日雨が降っていたので掘りやすく、また、例年以上に大きなイモが収穫されました。

園児たちは掘り上げるたびに「先生、見て～」と大歓声。さっそく各園では、「今日のおやつとして食べます」と、カゴいっぱい持ち帰りました。